

成人期自閉症スペクトラムの課題と支援

障害のある人が地域で生活していくためには、周囲の人の正しい理解が欠かせませんが、対人関係やコミュニケーションが苦手な人については、その特性が見えにくいことから誤解を受けやすい状況が少なくありません。

特に最近では大人の発達障害のある方の存在がクローズアップされていますが、学生生活や就労場面における困難さや抑うつ状態などの背景として、発達障害がありながら、そのことが認識されない中で、生きづらさを感じている人の存在が大きな課題となっています。

今回、よこはま発達クリニックの内山登紀夫先生を講師に迎えて、成人期の自閉症スペクトラムに焦点をあて、医療・高等教育・福祉・雇用場面における課題を踏まえ、地域でどのような支援を考えていけばよいのかご示唆いただきたいと思います。

多くの方のご参加をお待ちしております。

日 時 平成21年3月14日（土）13:00～16:30（開場12:00）

会 場 広島大学サタケメモリアルホール（東広島市鏡山一丁目2番2号）

講 師 内山登紀夫先生（大妻女子大学教授／よこはま発達クリニック院長）

対 象 医療・福祉・教育・労働等の支援職の方や関心のある方

定 員 600名

主 催 社会福祉法人広島県同胞援護財団（広島県からの委託事業）

共 催 広島県発達障害者支援センター

協 力 広島中央障害福祉圏域内の広島県知的障害者福祉協会加入施設

後 援 広島県教育委員会（申請予定）

参加費 無料

その他 申込み先は下記のところまで（締切は3月10日）

広島県発達障害者支援センター

FAX: (082) 427-0280 / TEL: (082) 497-0131

ただし、定員に達し次第、申込みは締め切りとさせていただきます。

当日は公共交通機関もしくは車にてお越しください。

※この講演会は、「地域における施設の拠点機能に着目した事業者支援事業」と広島県発達障害者支援センター研修事業の共催により実施するものです。

【講師紹介】

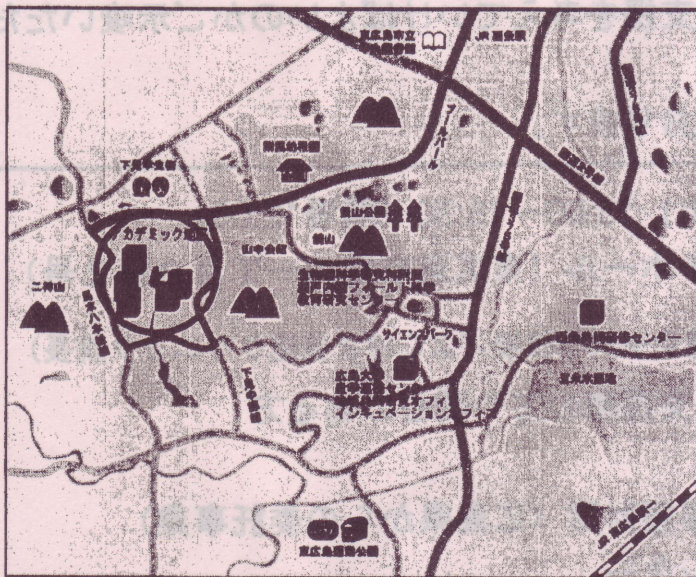
1956年 三重県に生まれる。順天堂大学医学部卒業
精神科医師。専門は児童精神医学

順天堂越谷精神医学研究所付属病院、東京都立梅ヶ丘病院を経て、現在よこはま発達クリニック院長及び大妻女子大学人間関係学部教授

1994年 朝日新聞厚生文化事業団の奨学金を得て米国ノース・カロライナ大学TEACCH部にて研修

1997年8月から一年間、国際ロータリー財団田中徳兵衛冠名奨学金にて、The Centre for Social Communication Disorders(ロンドン)へ留学。ローナ・ウィング、ジュディス・グールドの指導のもと、アスペルガー症候群を学ぶ(よこはま発達クリニックホームページより)

【案内図】



○交通機関のご案内

- ・山陽本線を利用する場合
西条駅前からバス「広島大学」行きに乗り、
広島大学中央口バス停下車(所要時間約15分)
- ・山陽新幹線を利用する場合
東広島駅前からタクシー利用(所要時間約10分)
- ・自家用車を利用する場合
山陽自動車道西条ICから国道375号、国道2号バイパス、ブルーバール経由で約6km(所要時間約20分)

【申込書】

氏名	ふりがな		所属・役職	
住所	〒	TEL		
		FAX		
		E-mail		

※参加人数把握のため申込書をお送りください。

※多数申し込まれる場合はコピーしてお使いいただくか、別途お名前を添付してください。

※FAX・郵送にて申し込んでください。締切は平成21年3月10日(火)です。

※いただいた個人情報は当研修会以外の目的には使用いたしません。